

びょういんのパズル

二幕の喜劇 第六稿 黒澤世莉

登場人物

上野あさこ 二〇歳前後 女性 無職。美大の浪人中。画家になるのが夢だが、事故で右手が不自由になる。

目黒ゆり 二〇歳前後 女性 無職。趣味はパズル。九歳のときに白血病を発病。入退院をくりかえしている。

新橋ゆうこ 三〇代 女性 経営者。

神田りゆうた 二〇代 男性 血液内科研修医。血液の専門家を目指している。

渋谷ちぐさ 三〇代 女性 優秀な血液内科医。

高田さくら 三〇歳前後 女性 三階主任看護婦。

馬場きみひで 二〇代 男性 新米看護士。

新橋有楽 三〇歳前後 男性 経営者。

鶯谷 入院患者。ピアニスト。

設定

時代 現代。二〇世紀から二二世紀にかけてのいつか。

季節 盛夏。盆のころ。時間 一幕、夕暮れ。二幕、早朝未明。

場所 東京から少しだけ離れた、海岸近くの総合病院。

舞台 病室と、そこに至る廊下。病室内にはベッドが二つ。廊下にはイス。廊下の端に音楽室とピアノ。

(▼つきのせりふは廊下での会話)

一幕

開場すると、病室には新橋がいる。時間をかけて念入りに化粧をしている。となりの音楽室では鶯谷がピアノを弾いている。廊下では人々が歩いている。神田入場。廊下でタバコを吸う。高田入場。神田を注意する。神田、高田、退場。

開演時間になって、廊下から馬場入場。

馬場 目黒さん。目黒ゆりさん。いません？

新橋 みつからないの？

馬場 はい。困りました。検査をさぼるなんて信じられませんよ。しつかり言って聞かせないと

新橋 本気ね、今日は

馬場 いつも本気です。まったく、どれだけの人に迷惑がかかるかわかっているのかな。新橋さん、本当に心当たりありませんか

新橋 お菓子あるけど、食べる？

馬場 そんな、結構です

新橋 まあまあ、どうぞ

馬場 悪いなあ。いただきます

新橋 うまくなつた？

馬場 (もぐもぐ食べながら) なにがです

新橋 採血

馬場 ばっちりですよ

新橋 よかったわね

馬場 昨日はみんな二回で入りました

新橋 え、全員二回さしたの？

馬場 はい

新橋 何人？

馬場 (指を三本立てる)

新橋 三人

馬場 三〇人ですよ

新橋 三〇人。みんな？

馬場 努力のかがありました。いままで平均三回だから、三分の二で

すよ

新橋 すごいね。馬場くん、転職って考えたことある？

馬場 はい。看護師は僕の天職です

新橋 がんばってね

馬場 今からやって見せましょうか？ 左腕を出してください

嫌がる新橋。廊下から神田入場。

神田 おつす

新橋 先生、馬場くんが私にひどいことするんです

馬場 何もしていないじゃないですか

神田 (馬場に) なにやってんの

馬場 (もぐもぐ食べながら) 仕事ですよ

神田 ふーん。油売つてるとまずいんじゃないの？

馬場 見つかりました？

神田 (新橋に) 二人は？

新橋 さあ？

神田 困りますよ、ちゃんと見ていてくれないと

新橋 (神田に) あなたの仕事でしょう

神田 オレの仕事か。(馬場に) お前の仕事だつてさ。だめだよ、ちゃん

とやっつけてくれなくちゃ。ちゃんと探せよ

馬場 先生も探してくださいよ

神田 オレはダメなんだよ。三分以上活動できないんだから

馬場 ずいぶん早いですね

新橋 うわ、下品

馬場 は？ いや、そういう意味じゃ

神田 セクハラ看護士

新橋 セクハラ看護士

馬場 違いますって

新橋 もつと言つてよ、馬場くんの下品な発言聞きたい

馬場 聞きたいって言われても

神田 遊んでばかりなんだから

馬場 真面目にやっていますよ

神田 なにが真面目だよ。セクハラしながらうまそうにクッキー食つてるだけじゃないか

新橋 食べたいならそう言えればいいでしょ

神田 ありがとうございます。(もぐもぐ食べながら)ごちそうさま

問。

神田 静かだな

馬場 先生がだまればね

神田 俺こう見えても日本物静か大会四位よ

問。

新橋 ビミョウね

神田 ほら、静かになった

馬場 そういう大会なんですか

神田 あるわけないだろ、そんな大会

新橋 探さなくていいの？

神田 どうせもう間に合いませんから。明日にでもやりなおしでしょ
馬場 患者さんの前でそんなこと言わないでくださいよ

神田 しっ

間。

神田 ヒグラシだ

新橋 ほんとう。夏も終わるわね

馬場 お盆ですからねえ

神田 医者には盆も正月も関係ねえよ

新橋 お疲れ様です

神田 仕事ですからね

馬場 新橋さんは帰らないんですか？

新橋 そうね

神田 今日は二号さんですか、三号さんですか？ ばつちりメイクしち

やつて

馬場 本当だ、目が青い

神田 アホかお前は。目が青いとか言うなよ。まず新橋さんを誉めるん

だよ。そういうところがダメなんだよ

馬場 すみません

神田 おまえにほれる女どもの気が知れないね

新橋 タデ食う虫も好き好きって言うから

馬場 フォローになつてないじゃないですか

神田 まあ、これだけクソ暑いと、熱中症の後遺症でお前に惚れる可能

性はある

馬場 はいはい。どうせ僕を相手にしてくれる人は病気の人のだけですよ

神田 そう落ち込むなよ

馬場 誰のせいですか！

神田 今日みたいな日は何して遊ぼうか？

馬場 仕事しますよ

神田 バカ、休みのときの話だよ

馬場 やっぱり海じゃないですか

神田 海、いいね。一日中ここにいと、季節感もへつたくれもないからな

新橋 涼しくていいじゃない

神田 わかってないな、新橋さん。夏は汗だらだら流すのが良いのです。

焼けた鉄板みたいになった砂浜でやく最高でしょ

馬場 それ、同感

神田 だろ

新橋 理解できないわ

馬場 行きたいですね、海

馬場 (新橋に) 今年に行かれました？

新橋 私は行かないわよ

馬場 外泊される時に行かれたらいいのに

新橋 苦手よ、暑いところは

神田 (新橋の飲み物のおいをかぐ) 今日に入れ替えられていないんですね。

新橋

新橋 そうです

神田 (新橋の肩に手を回しながら) どうりで素敵だと思いました

上野と目黒、こっそり入場。病室の状況を伺う。

馬場 神田先生

神田 なんだよ

馬場 僕の目が黒いうちは許しませんよ。どこかよそでやってください

神田 で？

馬場 で

神田 なんだよ

馬場 ここで患者さんや看護婦を手当たりしだいくどくのはやめろって

言って

神田 (さえぎって) バカ、そんなこと言う奴があるか

神田と馬場が取っ組み合う。部屋の様子をうかがっていた上野と目が合う。廊下に追いかけて行く馬場と神田。

神田 よう。お元気そうでなにより

馬場 今日四時から検査でしたよね

上野 ごめんごめん

目黒 そうだったつけ

上野と目黒、入室。

馬場 どこに行っていたんですか？

目黒 ちよつとそこまで

馬場 そこつてどこ

上野 そこいらへんを歩いてきただけよ

馬場 無断で外出しないで下さい

目黒 散歩しただけよ、そんなに目くじら立てること

馬場 約束は守ってください

上野 ごめんなさい

目黒 ガミガミガミうるさいつちゅうの

神田 カニ（筆者註 海産物ならなんでもいいです）は美味しかった？

目黒 あんなちつこいの食べられないよ

馬場 海まで行ったんですか

問。

目黒 行ったわよ

馬場 自分の身体のことわかってるんですか

目黒 うるさい

神田 ばれたら大変だ、ただでさえ渋谷先生、ふくらんでいたのに

上野 ふくらむの？

神田 あの人怒ると体重二トンになるんだ

上野 (馬場に) どうかこのことは御内密に

馬場 ダメです

上野 お願いしますよ、あら、今日の馬場さんちよつと素敵なんじゃない?

馬場

馬場 あ、そうかな

目黒 そうだね、バンビ (筆者註 なんでもいいです) みたい

馬場 それ、ほめてるの?

上野 ほめてるほめてる、メチャメチャほめてる

目黒 そうそう

馬場 ありがとうございます。でも、報告します

上野 ちっ

馬場 あたりまえだろう、何かあつたら大変なのだから

上野 怒られるほうが大変だよ

馬場 僕も怒っているんですよ。上野さん、とめてくれなくちゃ。目黒

さんを本当に心配しているのなら

目黒 チクツたら、一生うらんでやる。毎晩枕もとに立ってささやいて

やる

馬場 縁起でもない

目黒 愛の言葉でもダメ?

馬場 バカ言わないで

鶯谷のピアノから、上野と目黒のよく知る曲が流れてくる。上野と目黒、楽しそうに歌い始める。

馬場 ちよつと

新橋 お仕事大変ねえ

神田 そう思うならお酒はやめてください

新橋 今日は飲んでないじゃない

神田 今日飲んでないだけでいばらないの。明日も明後日も明々後日も

その後もずっと飲んじゃダメ。

新橋 そんな人生つまらない

神田 なののためにここにいるんですか

馬場 こう好き勝手やられたら、仕事にならないじゃないですか

神田 仕事？

馬場 患者さんの身体に悪いでしょう。みんな無自覚なんだから

神田 そんなもんだろ。医者的心患者知らずだ

馬場 近いって言ったって、一時間もかかるじゃないですか、海まで

新橋 自転車を借りていったみたいよ

神田 事故にでもあったらどうするつもりだったんだろうな

馬場 もう

神田 責任問題になったら大変だ

馬場 そういう問題じゃありません

神田 高田さんならそういうよ

馬場 歌は音楽室で歌ってください

神田 もう終わる

歌、終わる。ピアノの音も途切れる。

目黒 この曲大好き、ダニー最高よ！

馬場 ダニーって？

新橋 となりの。よくピアノ弾く子

上野 悪くないよね

目黒 悪くない？

新橋 いい曲だつて言ってるのよ

目黒 素直じゃないわね

上野 悲しくなつてくるわ、あんたに言われると

馬場 ここまで出てる。今の曲、どこかで聴いたことがあるんだ。どこ

だったかな、こう、このあたりまで出かかっているのだけけれど

神田 気持ち悪いんだよな、そういうとき

目黒 そりやそうでしょう。いつつも歌っているもの、私

馬場 テレビかラジオか何かで

上野 ありえないよ。ダニーの曲だもの

新橋 勘違いなんじゃないの

馬場 違います、ぜったい知っている

神田 既視感だな

馬場 ちがう。そうだ！ たしか、アレですよ、こういう歌を歌うシー

エム

と激しく熱唱する馬場。高田、廊下から入場。ぱったり目が合う。馬場直立不動。

高田 (拍手する) 馬場くん。お楽しみのところわるいんだけど

馬場 はい、すみません

高田 渋谷先生、たいそうご立腹ですよ

馬場 すみません、目黒さん、はやく

目黒 イヤだ、行かない

高田 今日はもう結構です。(出ていこうとする神田をとめて) 神田先生、ちよつと廊下で待っていていただけますか？ (目黒に) 調子はどう？

神田、廊下へ。

目黒 悪くはないわよ

高田 検査は明日にしました。明日の午前中に必ず受けてくださいよ

目黒 えー

馬場 えーじゃないだろ。

目黒 一人じゃ迷子になっちゃう

高田 迷子になっちゃうってさ

馬場 僕より詳しいくせに何言ってるんだよ。迎えに来るから

目黒 イヤだなあ

高田 (新橋を見て) あら、今日はいつにもましておきれいですね
上野 ほんとだ
高田 どなたかいらつしやるんですか? (新橋のにおいをかぐ)
新橋 はい
目黒 いいな、お化粧
上野 (目黒に) やつてもムダよ
目黒 やつぱり?
上野・目黒 あはははは
目黒 あとで殺す
高田 ココシヤネル。気分が変わつていいですよ。お酒を飲んでいる
よりも、お化粧をしている新橋さんのほうが魅力的ですよ
新橋 ごもつともです

目黒はジグソーパズルを始める。

高田 (上野に) 調子はどうですか?
上野 バリバリです
高田 右手の方は?
上野 ガリガリです
高田 痩せなかつたわねー、退院まで
上野 そうですね
高田 寂しくなるわね
上野 遊びにきますよ
高田 逃げるあなたを捕まえるのが生きがいだつたのに
上野 私の勝ち逃げてことで
高田 何言つてるの。私の勝ち越しじゃない、五四勝五三敗二分一コー
ルド
上野 そうでしたっけ?
目黒 良く覚えてるわね
高田 良く覚えてるわよ、仕事以外のことは

上野 ダメじゃないですか
高田 なんであんなに注射嫌がるのかしら。今となつてはいい思い出ね
上野 そうでもないです
高田 また追いかけていきましょう（握手する）
上野 もう結構です
高田 （上野をくくん嗅ぎながら）このにおい、何のにおいかしら。
磯の香り、つていうか、潮くさい
馬場 そうですか
高田 私の鼻、犬並だから
馬場 おにぎりの中身とか当てますよね
高田 余計なこと言わない
馬場 すみません
高田 何のにおいなの？
上野 さつき昆布風呂に入っていたんで、それかな
高田 昆布風呂？
上野 肌にいいらしいんですよ。日高産を惜しげもなく使うのがコツな
んです
高田 あら。詳しく教えて。メモメモ、あった、それで
上野 それで、グラッと来る直前くらいにあげて
高田 熱くて入れないじゃない
上野 水で薄めるんですよ
高田 なるほどね。日高昆布じゃないとだめなの？
上野 ダメですね、利尻とかつかってみただけど、もう全然違いますよ
高田 他にコツとかはあるかしら
上野 仕上げに鰹節をサツとくぐらせてください。サツとでいいです
高田 サツとね。ありがとう。今度やつてみるわ。このツヤは昆布効果
なのね（上野をさわる）
上野 まあ、そうですね
高田 馬場くん、他にやることは
馬場 はい。帰って記録します

高田 ふーん、そうかあ

馬場 え

目黒、しきりに新橋たちに手を向ける。気付く馬場。

馬場 新橋さん、面会終了時間がまもなくですので、来客の方のお帰りが遅くならないように、よろしくお願いします

全員、拍手。

馬場 ありがとうございます

高田 命拾いしたわね。行くわよ

高田、馬場、廊下に。(▼廊下での会話)

▼ 高田 馬場くん

▼ 馬場 すみません

▼ 高田 (ひっぱたく) まだ何も言っていないわよ

▼ 馬場 すみません

▼ 高田 そんなことだから私がいじめているみたいに言われるのよ

▼ 馬場 はい

▼ 高田 (ひっぱたく) はいってなによ。いじめられてると

思
つてるの

▼ 馬場 思っています

▼ 高田 そうよね。よかった

▼ 神田 (笑う)

▼ 高田 笑わない。笑うところじゃないわよ

▼ 神田 すみません

▼ 高田 (神田のにおいをかぐ) 今は吸ってないのね
▼ 神田 はい
▼ 高田 あなたたち、患者に入れ込みすぎ
▼ 馬場 すみません
▼ 高田 おしゃべりしすぎです。患者さんは友達じゃないん
で
▼ すよ
▼ 神田 はい、気をつけます
▼ 高田 悪いことではないけど。あとでつらいわよ
▼ 神田 はい
▼ 高田 ちゃんと仕事をしてくださいよ。本当に。昆布風呂
か

高田、馬場、退場。神田、部屋に戻る。

神田 昆布風呂
上野 昆布風呂よ
神田 は？
新橋 いいダシ取れそうね
目黒 あぶない。ばれたらえらいことになった
上野 すぐ気付かれるだろうな
神田 高田さん、本気で怒らせるとコブシで語るからな
上野 本当に
新橋 本当よ
目黒 点滴をつり間違えた看護婦さん、その瞬間になぐっていたから
上野 見たの？
目黒 見たなんてもんじゃないわよ、私の目の前だったからね。そこか
ら向こうの壁まで吹っ飛んでた
上野 マジで
神田 患者でも容赦なしだ。音楽室で

上野 ばれたら私も？

神田 昆布ぐらいじゃ怒らないだろう

新橋 美容に対する女の情熱をわかってない。高田さんさ、ちょうど三十路を過ぎたころだから、微妙な女心を上野にもてあそばれてさ、まずいんじゃないの？

神田 そういものですかね

上野 音楽室でどうしたの

神田 あ、そうそう。音楽室で患者三人がそろってマグロ（筆者註 なんてでもいいです）

目黒 あんな目くじら立てなくてもいいのに

神田 アホか。無断外出なんてできる状態かどうか、自分が一番よくわかってるだろう。外出する時は外出許可を取ってからいけ。お前らが思ってるほど病気は待ってくれないんだよ。いきなりバツタリ倒れた時に、真夏の浜辺だったらそのままポックリいつちまうぞ

目黒 うるさい。自分のことは自分が一番よくわかってるよ

神田 そうですね。あんまり手を煩わせるんじゃないぞ

目黒 わかってるから、行くんじゃない

神田、廊下へ。退場。

上野 音楽室で三人組が

新橋 続き気になるわね

目黒 新橋さん、今日はほんときれいね

新橋 いつも綺麗でしょ

目黒 そうだけど

上野 大人の女って感じ

新橋 おだてても何もでないわよ

目黒 誰が来るの？

上野 二号？ 三号？

目黒 三号は昨日来たよ

上野 ああの鳩サブレか。あいつはいいやつだ。二号はちょっとなあ

目黒 みやげで人を判断するなよ

上野 重要だ。花が食えるか？

目黒 私は本の方がいい

上野 本なんて、いくらあつたつて食えない。いざつてときに役に立たないぞ

目黒 されど人はパンのみにて生きるにあらず

有楽、入場。有楽、入室する。

上野 で、二号が来るの？

新橋 今日は一号

上野・目黒 え！

有楽 こんにちは、一号です

上野・目黒 げ！

新橋 遅かったじゃない

有楽 ごめんごめん、仕事が片づかなくて。(目黒と渋谷に)いつも妻がお世話になっております

目黒 大してお世話してませんから

上野 バカ、こちらこそつて頭下げるのよ

目黒 こちらこそ(上野と二人深々と頭を下げる)

有楽 ご丁寧にも。すみません、手ぶらで(頭を下げる)

上野 とんでもない(上野と目黒、頭を上げて、すぐさげる)

有楽 どうだい、調子は

新橋 だいぶ良いみたい

目黒 もういいの？

上野 たぶん

有楽 そんなにかしこまらなくてもいいですよ。いつもどおりになさつていてください

上野・目黒 はーい(上野と目黒、頭を上げる)

目黒 ひさしぶり、一号

有楽 ひさしぶり。元気そうだね

目黒 そうですね

新橋 こっちの子は明日退院なの

上野 はい。上野です、よろしく。またちよくちよく遊びに来るんで

有楽 こいつのこと、よろしくお願いします

上野 そんな、こちらこそ迷惑をかけてばかりで、ね

目黒 こいつ新橋さんの鳩サブレの枚食いとか

上野 あんただって化粧ポーチを

目黒 それはダメ！（上野の口を押さえて）ありがとうね、さつき

上野 え？

目黒 海

上野 ありがとうなんて、珍しい。熱あるんじゃない？

目黒 ケンカ売ってるの？

上野 珍しいこと言うから。ナースコールする？

目黒 海、一度でいいから入ってみたかったんだ

上野 こんどは水着買っていこうよ

目黒 そうだね、ナンパ待ちしようか

上野 止めておいたほうがいいとおもうよ。惨めな思いさせたくないし

目黒 そういうこと言うんだ。いいんじゃない？ 勝負しましょうか

上野 二人して声かけられなかったら、悲惨だな

目黒 そうだね

新橋 大丈夫よ、夏の男なんて水着着てればなんでもオッケーなもの

上野 そういふもんですかね

有楽 ん？ ああ、誰でもいいかな

目黒 ダメじゃん、それじゃ

渋谷、入室。

渋谷 こんにちは

目黒　　ごめんなさい

渋谷　君を怒りにきたわけじゃないから、安心してよ

目黒　　ありゃ、意外

上野、スケッチブックに向かおうとするが、なかなか着手できない。

有楽　　ご無沙汰しております、渋谷先生。妻がいつもお世話になっております

渋谷　　恐れ入ります。気分はいかがですか？

新橋　　そりゃもう、絶好調です

渋谷　　そうですか

新橋　　あの、なにか

渋谷　　はい。新橋さんの治療方針について、一緒にお話しようとおもっ

たのです

有楽　　私は

渋谷　　ぜひご同席ください

有楽　　そうですか、では、ご一緒させていただいて

新橋　　あの、どういったお話でしょうか

渋谷　　新橋さんに退院していただきたいのです

問。

有楽　　それは、これが治ったということですか？

渋谷　　残念ながら、その逆です。単刀直入に申し上げても？

新橋　　はい

渋谷　　これから先の治療は、ご本人の意思が鍵となってきます。今のよう
うに、医療スタッフの指示を無視してアルコールの摂取を続けるようでしたら、
回復は難しい。もつと嚴重に管理された病院に行かれるのが、新橋さんのお身
体にとつても良いかと

新橋　　転院しろってことですか

渋谷 当院では、できるだけ患者さんに自由にさせていただこうと、様々な工夫をしております。外出も面会も買い物も、できるだけ皆様の意思を尊重したいと考えております

有楽 存じております

渋谷 それが、今の新橋さんの身体にとっては、いい影響をあたえないようです。

目黒 いいじゃない、新橋さんがココがいいって言ってるんだから

渋谷 黙っていて

目黒 新橋さん、ここにいるほうがいいよね？

新橋 そりゃあ、ねえ

目黒 ほら。病院だつてその方が儲かるんだし、いいじゃない

渋谷 それは医療スタッフと新橋さんが決めることです

目黒 感じわるい（渋谷の背中に向かって悪意のある表現を続ける）

渋谷 私の申し上げたいことは、ご理解いただけましたか？

新橋 はい

有楽 申し訳御座いませぬ、先生がたの努力を無にしてしまつて

渋谷 そんなことはどうでもよろしい。あなたの肝臓は、もう取り返しのつかない一歩手前まで来ています。これ以上に良くすることは難しいのです。しかし、医療は可能性です。絶対ということはない。そのためにまず、お酒を断つことです

有楽 それは

渋谷 はい。難しいことは重々承知です。精神科の医師とも協議してまいりましたが、これ以上の治療は、アルコール依存症専門の施設がより適しているでしょう

新橋 わかりました。考えさせてください

上野 新橋さん、いなくなっちゃうの？

目黒 イヤだなー

渋谷 その上で

有楽 家族の支援が必要不可欠である

渋谷 そうです。長い入院とていろいろの出来事で、お疲れだと存じます。

ですが、お二人の絆を試すよい機会だととらえて、がんばっていたきたい

新橋 はい

有楽 はい

目黒 言う方は簡単だがや

渋谷 紹介状は私が書きますので、お二人でよく話し合ってください

新橋 はい

有楽 ありがとうございます

渋谷 ご質問はございますか

有楽 いえ、とくに。転院の方向で、良く話し合ってみますので

渋谷 そうですか、わかりました。(目黒に)あなた、人のことに口を出

さないの

目黒 退院させないで

上野 私も退院させないでほしい。見舞いが一回ですんだ方が楽じゃな

い

目黒 横着するなよ

渋谷 あなたたち新橋さん、好き?

目黒 バカじゃないの

渋谷 好きよね

目黒 あたりまえじゃない

上野 そりゃあ、そうですよ

渋谷 だったら、彼女が入院するのは、より良い治療ができる病院と、

力不足のこのこと、どちらがいいと思う?

目黒 ここ

上野 ここ。楽だから

渋谷 ああ、そう

目黒 転院してもいいよ。でも、あと一週間くらい待つてよ

渋谷 手続きやこまごました事でそれくらいはかかると思うけど

目黒 それならいいや

渋谷 なぜ

目黒 なんとなく、それくらいの気がするから

渋谷 なにが？
目黒 いやん、もう。わかってるクセに
渋谷 明日の八時、待ってるわ
目黒 早く帰れよ
渋谷 悪い口を利くのはこの口か（とつねる）
目黒 いたいいたいいたい、ごめんなさい。わかったから、帰って
渋谷 もう少しがんばろう。私もがんばるから
目黒 ブスになるだろう
上野 かえって良くなるかもよ
目黒 そりゃどういいう意味だ
上野 鏡を見ればわかる
目黒 いずれ殺す
渋谷 （パズルを見て）これは？
目黒 パズルよ
渋谷 絵は？
目黒 ないのよ。
渋谷 大変ね
目黒 大変なのよ。パズル王の私をここまででこづらせたのはこいつが
はじめてよ。と、言ってももう終わるけれどね。
上野 もう？ 早くない？
目黒 いや、これはさすがの私もしんどかったな
渋谷 真っ白いジグソーパズルか
目黒 約束してるんだ
渋谷 何を
目黒 絵を描いてもらうの。私の。私がこれを完成させたらね。だから、
一刻も早く完成させねばと思って、日々臥薪嘗胆の努力をしていたのだよ。
新橋 意味わからないわね
目黒 そうともいうの。あれ？
新橋 どうしたの？
目黒 うんにゃ、気のせいかも。ううん、やっぱり、ピースが足りない

ような気が

新橋 良くわかるわね

上野 気のせいじゃないの

目黒 甘い。私の観察眼をなめているよ君達

渋谷 早く完成するといいわね。今日は絶対安静だから。返事は

目黒 はい

渋谷 新橋さん、今お話したこと、良く考えてください。医療は可能性
ですから。では、失礼

渋谷、退場。

目黒 やつと帰ったか

上野 新橋さん、転院しちゃうの？

新橋 わからないけど。この人と相談して決めるわ

上野 わたしイヤ、よその病院に行っちゃうの

有楽 ずいぶん慕われているんだね

新橋 なんてかね、こんな呑んだくれ

上野 旦那さんだつて、わざわざ忙しいのにお見舞いにいらつしやるじ
やないですか

目黒 ね。バッチリ化粧して迎え撃つなんて、他の男の時より気合はい
つてますよ

上野 バカかあんたは

目黒 バカつて何よ。それだけ好き度高いでしょうが

上野 バカにバカバカ言つても仕方がないけど、もう、バカなんだから

目黒 バーカ、バーカ

有楽 僕は気にしていないから、やめてくれ、頼むから

上野 そうですか？

目黒 そこまでいうなら。私もそんなお化粧したーい

新橋 やつてあげようか

目黒 ホント？ してして、私にも

上野 二人の時間を邪魔すんじゃないわよ

新橋 いいわよ。ね？

有楽 ああ

新橋 こつちに来て座って。(目黒の顔をいじくりながら) お化粧、人にするのも好きなのよ

上野 へえ

新橋 ヘアメイクになりたかったんだ、昔

有楽 そうなんだ

新橋 そうよ。言っていなかったかしら

有楽 初耳だな

目黒 私も

新橋 動かないで

上野 わたしも

新橋 そう。美容師になって、いろんな人の髪を切ったり、お化粧をしたりね。そんな生活がしたかったんだ。私、貧乏だったから、進学できなかったのよ

目黒 そう

新橋 動かない。それで、この人と会社を作って、働いて働いて、気がついたら、アル中で倒れた

上野 なんであきらめちゃったの？

新橋 なんでかしらね。自信がなかったのかな

有楽 自信

新橋 働きながら勉強するじゃない。夜学に行くでしょう。すごくしんどいわよね。働き始めるじゃない。安月給でしょ。これは耐えられないと思つたの

上野 好きだったのではないの？

新橋 あなた、絵を描くの好きよね

上野 あたりまえじゃないですか

新橋 ずっと好きでいられる？

上野 それはわかりませんが。今は右手の調子がよくないだけで、治

つたら

新橋 私はね、仕事にしたら嫌いになりそうだったのよ

上野 本当に好きなら大丈夫なんじゃないですか

有楽 好きだけでは続かない事もあるよ

上野 イヤです、そういう考え方

新橋 そうかもしれないわね。そのときは、ただ、それを商売にするのがとても怖かったの。そのうちに、自分が好きでもないのに、お金のためだけに続けるようになるのになつて。ゾツとしたわ、想像したら。正直に言つて、今になつて、ちよつと後悔している節もあるのよね。あるときあきらめなかつたら、つて。いろいろ理由をつけないでとにかくやつていたらどうなつたかなつて。(有楽に)ごめんなさい、今の仕事も嫌いじゃないのよ

有楽 気を使わないでくれ

新橋 今の仕事を始めたおかげで、この人にも出会えたわけだし

有楽 やめてくれよ

新橋 今の自分に悔いはないわ。でも、だから、だから上野ちゃんには、がんばつて絵描きになつてほしいなあ。ほら、できた

目黒 喋つていい？

新橋 どうぞ

目黒 どう？(鏡を見る)

上野 まあ、悪くないんじゃない

目黒 これ、誰？ すごい美少女がいる

上野 眼鏡かけたほうがいいわよ

有楽 かわいいじゃないか

上野 まあ、そこそこ

目黒 勝つた。すごい嬉しい。新橋さん、ありがとう

新橋 どういたしまして

目黒 もう思い残すことないわ

新橋 成人式には着物を着せたいわね

目黒 着たい着たい、お着物着たい！

上野 誰に見せるのよ。あ、彼氏つて意味ね

目黒　　そうか、そうだね

新橋　　それまでに彼氏つくればいいよ

上野　　むりむり

目黒　　写真とろうよ、新橋さんたちと。親子っぽくない？ あんたも入
れてあげるよ。ここに（頭上に○をつくる）

上野　　そこかよ

目黒、うつとりと陽気にしゃべり続ける。

上野　　退院したくないな

新橋　　なぜ

上野　　ここは楽しいもの

有楽　　ここじゃ絵描きになんかなれないよ

目黒　　そうよ、さつさと出て行けばいいのよ

上野　　もう無理よ

目黒　　なんで

上野　　もう前のようには描けないもの

目黒　　じゃ、もう描かないの？ 約束はどうなるのよ

上野　　仕方がないじゃない、手が動かないんだから

目黒　　動いているじゃない

上野　　動くだけよ。描けるほどではないわ

目黒　　動かなくなっちゃったもんは仕方がないじゃない

上野　　あんたにはわからないわよ

目黒　　あーわからないさ。じゃ一生描かないの。死ぬまで。そりゃあ
たの勝手だけでも。絵を描かないあんたが、生きててどうなるのよ。そりゃあ
んた、ただ死んでないだけよ。あんた、自分で言ってたわよね、絵を描くこと
が生きることだって

上野　　人の言ってること勝手にパクるなよ

目黒　　元気あるじゃない

上野　　うっさい、着物勝負するわよ。成人式までに出てきなさい

目黒 勝ちを譲ってあげる

上野 何よそれ

目黒 いつ倒れてもおかしくないもの

上野 やめて、そういうの

目黒 ほんとのことだもーん、勝ち逃げできて嬉しいわ

上野 何よ、勝ち逃げって

目黒 まず、なによりも美貌。それにパズル勝負

上野 どうかな

目黒 一向に描き終る気配ないじゃない、あなた

上野 入れてないのよ

目黒 なに？

上野 最後のピースは、あなたの退院祝いだから

目黒 は？

上野 最初から入っていなかったのよ、フルピース

目黒 頂戴よ

上野 だめよ

目黒 話が違うじゃない

上野 全部入っているなんて言っていないじゃない

目黒 ふざけるなよ！

間。

目黒 欠けているジグソーパズルをやるなんて、耐えられない

上野 大げさよ。退院したらあげるから

目黒 いやだ、待てない

上野 がんばって早く治してね

目黒 そんなの無理よ

上野 無理じゃないって

目黒 無理なのよ！ 知った風なことと言わないでよ、余計に嫌な気分

になる

上野　ごめん

目黒　なに謝ってるんだよ。そんなに描きたくないの

上野　そういうわけじゃないけど

目黒　私を言い訳に使って

上野　そんな言い方ないでしょう、心底心配して、喜ばせようと思ってやったのに。そりゃ、傷つけたのは悪いけど

目黒　押し付けがましい言い方

上野　バーカ、ひねくれすぎだよ

目黒　右手が動かないのいいわけにして

上野　してない

目黒　してる

上野　してない！

目黒　してるー

上野　この気持ちわからないでしょうね！

目黒　ああ、わからないさ。じゃ、あたしの気持ちができるのか。山も、森も、高層ビルも、聞いただけで行った事なんてありやしない。そういう気持ちにはわかるのか

上野　可哀相なことですね、配慮が足りませんでした

目黒　早く描いてよ、私モデルにするんですよ

上野　パズルは完成してないじゃない

目黒　ピースがないのにできるかよ！

上野　あんたなんか、病気だからってみんなに甘やかされてるだけなんだからね

目黒　そんなことわかってるわよ！

高田、馬場、廊下に入場。上野、スケッチブックを持って廊下に出る。

高田　ちよつと、どうしたの？

上野、退場。

▼ 高田 オーラ出てたわよ、あの子

有楽 病は気からって言うけれど、君はたいそう元気がよいね

目黒 カラ元気です

有楽 大切なことですよ、カラ元気

▼ 高田 仕事

新橋 目黒ちゃん、このひとも昔

高田、馬場、入室。

有楽 黙ってて。上野さんだっけ。悪気はないんだ、それくらいわかってるでしょう、君は利発な子だもの

目黒 うるさい

新橋 このひと、急性白血病で生死の境をさまよったことがあったわ。

だから、あなたの気持ちも少しは分かると思うの

目黒 あなたはあなた、わたしはわたし。いつしよにしないでよ！

高田 どこにいくの。顔色悪いわよ

目黒、廊下に出る。追って馬場も廊下に出る。(▼廊下での会話)

▼ 馬場 目黒さん

▼ 目黒 ほっといてよ

▼ 馬場 ご一緒します

▼ 目黒 トイレまでついてくる気？

▼ 馬場 じゃ、そこまで送っていきます

▼ 目黒 信用ないな

▼ 馬場 そういうわけでは

▼ 目黒 ね。トイレでしょっか

▼ 馬場 冗談きついよ

▼ 目黒 冗談か

目黒、馬場、退場。

高田　　またケンカしたの

新橋　　いつものことよ

高田　　まったくもう。元気がありあまつてるって言うかなんていうか

有楽　　こんなところに閉じ込められたら、エネルギーのやり場に困りま
すよ、あの若さで

高田　　そりゃ、そうですね。仕方がないわね

有楽　　お前、あんな言い方されたら

新橋　　ごめん

有楽　　いや、そういう意味じゃないんだ。ただ、あの若さですつと病氣
と闘っているんだから、神経質にもなるよ

新橋　　そうよね。他の子はお気楽極楽に生きているのにな

高田　　そのクセ、妙に悟ったところがあるんですよね。私がアレくらい
のころは、もつとバカだったけどなあ

新橋　　私はいまだにバカですよ

高田　　それ言ったら私もですよ

新橋　　死んでないだけ、か

高田　　そんな事言われました

新橋　　私にはないけど。やりたいこともやらずに生きているのは、た
だ死んでいないだけで生きていないって

高田　　小娘が、生意気な

有楽　　あのことは言ったの？

新橋　　まだ

有楽　　そうか

高田　　旦那さん、ご病氣されていたんですね

有楽　　ええ、これと結婚するすこし前に

高田　　ひよつとして、羽村さん？

有楽　　ええ、そうですが

高田 高田です。覚えてらっしゃらないかもしれないけれど
有楽 高田さん、覚えていますよ。音楽室事件の
高田 そうです。懐かしいな、お元気そうですね
有楽 すっかり見違えて
高田 だいぶ老けましたからね
有楽 いえ、おきれいになられたので
高田 いや、それだけが取り柄でねえ
新橋 高田さん、ご存知なんですか
高田 苗字が違うので気付きませんでした。私のチームで担当させて頂
いていました
新橋 どうして教えてくれなかったの
有楽 あの子は悪いんですか？
高田 難しい病気ですが、渋谷先生は可能性があるっておっしゃって
ます
有楽 僕のとくもよく言われました。「あなたの病気は治らない方がお
かしい、がんばりましょう」っておっしゃるんですよ。
新橋 私も言われたわ
高田 そうですね
有楽 自信のある時は言うんですよ「治らない方がおかしい」って
高田 そんなことないですよ、たまたまそういうときが多かっただけで
有楽 いえ、もういいんです。すみません、おかしなことを言っ
高田 とんでもない。ぜひ羽村さんからもいろいろ言っやってくださ
い、あの子に。きつと喜びますよ
有楽 そうかな
高田 入院されている時も、実に模範的な患者さんでした。立派でした。
つらい治療にもじつと耐えられて
有楽 言うことを守らないと怖かったからなあ
新橋 昔からのね
有楽 あのとくもすごかったね、患者三人が音楽室で
高田 羽村さん

有楽 喋りすぎたかな。いやいや、僕なんてそんなにえらいものではないよ。君達の方がよほど立派だ

高田 なぜですか？

有楽 自分の痛みには耐えられる。だが、人が苦しむ姿を見るのは耐えがたい

高田 はい

有楽 毎日毎日、たくさんの死と向き合っている君達は、それこそ尊敬に値する

高田 どうなんでしようね

新橋 どうなんでしようって？

高田 なんでもありません。ただ、我々は報酬とひきかえにサービスをしているだけですから、そんなにかしこまったことを仰られなくてもいいかなと。もちろん、さげすまれるのもイヤですけどね。麻痺してるんですよ、感覚が。私達病棟に長いものは。病気にも病人にも死ぬことにもなれてしまうし。なれないと仕事になりませんから

新橋 他の患者さんが危ないものね

高田 そうですね。でも本当は、馬場くんみたいに若くて情熱に燃えている方が、看護には向いているのかもしれない

有楽 高田さんは、立派な方ですね

高田 ありがとうございます

新橋 高田さんはなぜ看護婦になられたんです？

高田 母がね、手に職をつけろってうるさかったんですよ。不況の時でもご飯が食べられるような仕事があった。それだけです。あとは、なりゆきですね

馬場、走って入場。入室。

馬場 すみません、逃げられました

高田 あ、そ。ごめんなさい、べらべら喋っちゃって。お恥ずかしい。

今日は本当に、喋りすぎました

高田と馬場、廊下に出る。

▼ 高田 馬場くん

▼ 馬場 すみません

▼ 高田 (ひつぱたく) どこで逃げられたの。あ、先探して
なさい

上野、廊下に入場 (▼廊下での会話) 馬場退場。

▼ 高田 先に行っていないなさい

▼ 馬場 はい

馬場、退場。

▼ 高田 ちょっと、上野さん

▼ 上野 なんですか

▼ 高田 座りなさい

▼ 上野 (ベンチシートに座る)

有楽 話したいことがあるんだ

新橋 なによ、急にあらたまつて

有楽 うん、ちょっとね

▼ 高田 ケンカしたんだ。目黒さんなんだけど

▼ 上野 ハイ

▼ 高田 あんまり興奮させないでくれる。それと、今日みた
い ▼ な外出は二度としないで

▼ 上野 あの、いいですか

▼ 高田 何？

▼ 上野 助かるんですか、あいつ

▼ 高田 それは私達が考えることじゃないわ

▼ 上野
神田先生が言っていたんですけど。できるだけ生き
て▼ いるうちに楽しいことをしておけて。悔いのない
よ▼ うに生きろつて。だから
▼ 死んだらあなたのせいよ
▼ 上野
え？
▼ 高田
今日あの子が死んだら、あなたのせいなのよ。あな
た▼ だけじゃなくて、私達の管理不行き届きにもなるわ。
▼ どういうことかわかる？
▼ 上野
わかりません
▼ 高田
わかつて。あの子の身体は、あなたが思っているよ
り▼ ずっと繊細なのよ。長い時間歩くだけでも大変なはず
▼ だ▼ よ。それを
▼ 上野
あの子がそうだったの
▼ 高田
言っていないわ
▼ 上野
じゃあ、いいじゃない
▼ 高田
次は、怒るわよ。良く考えて。もう子供ではないの
だ▼ から

高田、退場。上野、スケッチブックを開いてデッサンを始める。

新橋 話さないの

有楽 うん

新橋 見とれてるの

有楽 まあね

新橋 バカね。早く言いなさいよ。あなたの言いたいことなんて、もう
全部お見通しなんだから

有楽 ごめん

新橋 言わないと、なにも終わらないわよ

有楽 ごめん。僕はもう、君を見守っていくことはできない

新橋 そう

有楽　もう見ていられないんだよ

間。

有楽　母を見ているようで

新橋　母？　お母さん？

有楽　そう。母もアルコール中毒だったんだ

新橋　そうだったんだ。しらなかつた。あなた家族の話してくれないんだもの

有楽　君だつてあまりしたがらないじゃないか

新橋　そうね。お互い様か。どんなお母さんだったの

有楽　うん。気丈な人だったよ。女と逃げてしまった父親に代わつて、女手ひとつで私を育ててくれた。しかし、気がつくつと、母は酒がなければ生きていけない身体になっていたんだ。私が大学に進学してすぐに、肝硬変で倒れてしまったよ。僕は愚かなことに、母が倒れるまでまったく気付かなかつた。まったく愚かな事だ

新橋　そんな言い方やめて

有楽　母に続いて女房まで同じ目に会わせて、愚かでなくてなんだつていうんだ

新橋　ごめん

有楽　僕こそ、ごめん。母のために大学を辞めて、精一杯看病したんだが。ダメだった。母と酒との縁は切れない。切れないんだ。彼女の努力も、一時の決意も、酒の魅力の前では何の役にも立たなかつた。倒れてから一年で、あつという間に世を去つてしまつたよ。君を見ていると、その時の母が

新橋　ごめんね

間。

新橋　ごめんね

有楽　もう疲れてしまつた。(離婚届を出す)あとは君の名前と判子を押し

してくれ

目黒、廊下に登場。

▼ 上野 さつきはどうも

▼ 目黒 こちらこそ。進んでる？

▼ 上野 おかげさまでぜんぜん

▼ 目黒 そう

▼ 上野 あげるよ。最後のピース

▼ 目黒 もういらない

▼ 上野 いらないの

▼ 目黒 もっと欲しいものがあるんだ

▼ 上野 何よ

▼ 目黒 絵と彼氏、どっちが大切

▼ 上野 そんなの、どっちもだよ

▼ 目黒 どっちもはダメよ。どちらか選んで

▼ 上野 どうしても？

▼ 目黒 どうしても

▼ 新橋 そんな気はしていたんだよね

▼ 有楽 そうかい？

▼ 新橋 あなた、いつもと違ったし

▼ 有楽 そうかな

▼ 新橋 そうよ。ウソつけないのよね

▼ 上野 彼氏よりも絵、かなあ

▼ 目黒 じゃ、あのバカちようだいよ

▼ 上野 あのバカって？

▼ 目黒 馬場くん。ダメ？

▼ 上野 本人に聞いてよ

▼ 目黒 じゃ、聞くわよ。恨みっこなしね

▼ 上野 なんかズルイ

目黒

ズルくないわよ。ちゃんと宣戦布告しているじゃない

上野

そういう問題じゃないの

目黒

じゃ、なに

上野

自由だよ、目黒

目黒

わたしが自由なんじゃなくて、あんたが不自由なの

よ

上野

不自由か

目黒

いいのね

上野

好きにしたら

馬場、廊下に入場。

目黒

ちょっと待ってよ

馬場

後にしてよ

上野

やめてよ

目黒

好きにしろって言ったじゃない

上野

ダメ

馬場

じゃ、あとで

目黒

ダメ

馬場

緊急の電話がきているんだ、新橋さんに

上野

やめて

目黒

私とこの子、どっちが好き？

馬場

どっちも嫌い

目黒

まじめに聞いてよ

馬場

新橋さんかな

目黒

あなたが好きなの

馬場

(空手の振りで) 中段、下段、冗談、みたいな

目黒

つまらないギャグも、半端な熱血も、下手な注射も、

微妙な顔も、好きなの

▼ 馬場 僕、ギャグセンスあるから、無理だよ

▼ 目黒 こんなやつ振って、私と付き合っ

▼ 馬場 落ち着いて

▼ 目黒 落ち着いてる。(馬場の手を自分の胸に持って行って)

▼ このドキドキは好きだから

▼ 馬場 いや

▼ 目黒 採血ずっと付き合っ

▼ 馬場 採血ずっと付き合っ

▼ 馬場 採血ずっと付き合っ

▼ 馬場 採血ずっと付き合っ

▼ 馬場 採血ずっと付き合っ

馬場、部屋に入る。

▼ 目黒 言っちゃった

新橋 別れましょう

有楽 どうしたの？

馬場 会社から電話がありまして、至急折り返してくれとのこと

問。

馬場 あの、出来るだけ早めに

有楽 用件はわかっているから。

▼ 上野 あんたはずるい

▼ 目黒 何が

▼ 上野 わからない

▼ 目黒 うじうじするのは勝手だけど、それじゃなにも手に

▼ 入 らないよ。あー、スッキリした

上野 大嫌いだよ

目黒 私あなた好きよ。馬場くんより好きかもしれない
彼を取らないで

上野 別問題でしょ。好きの質が違うの
あんたより彼が好き

目黒 最初からそう言えばよかったのよ
言えないわよ、あんたも好きだもん

上野 じゃあ、譲ってよ
別問題でしょ。好きの質が違うの

目黒 どうせ私、すぐ死んじゃうわよ
それでもあげない。人に渡すくらいなら

上野 嬉しいな
何が

目黒 胸が痛むのよ
私だって

上野 生きてるって感じる。傷ついて傷つけられて
傷つくのはイヤよ

目黒 芸の肥やしにしてよ
勝手なこと言って

上野 勝手だもーん、人間なんてみんな自分勝手よ
あなたがうらやましい

目黒 なんで？ 病人扱いされてるから？
もうすぐ死ぬから

上野 あっはっはっはっは！ あんたバカね。すごい
言うな。言えないよ普通、そんなこと。言われたの

初 めてだ

人 バカよ、バカだもん。将来のことも考えなくていい

ん だもん、今のまま死ぬるんだもん。めっちゃめっちゃう

▼ い ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ う ▼ ん。 ▼ ▼ ▼ 取 ▼ ▼ ▼ た ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼

目黒 上野 目黒 上野 目黒 上野 目黒 上野 目黒 上野 目黒 上野 目黒 上野 目黒 上野 目黒 上野 目黒 上野 目黒 上野

やましいよ
ごめんね、先に死んじゃって
ごめん
あんた一人残して死ねないわ。かわいそうで
ありがとう
だから私は最後まで生きたい、生きたいの
うん
好きな事を好きなだけしていいの。イヤな事はし
くはないの。最後まで目いっぱいやりたいのよ
うん
約束して、そばにいるって。私の最後はあなたが見
つて。
うん
渋谷先生、いっぱい痛い事すると思うんだよ。たぶ
彼女なりの愛情表現なのは分かってるんだけど、ど
してもイヤなのよ
分かった
あの人がそういうことをしたら、止めて
絶対止める
最後までこの手をはなさないでね
うん
そばに
約束する。そばにいる。絵も描く。でも男はあげな
ちえ。約束。嬉しい

▼ 上野 ゆびぎりげんまん、うそついたらはりせんぼんのー
▼ ま す。ゆびきった
▼ 目黒 ありがとう
▼ 上野 暑くない？ 戻ろうか。ちよつと熱っぽい？
▼ 目黒 大丈夫

上野・目黒、病室に入る。

馬場 あの。別れるって言っていましたよね

新橋 ええ

馬場 部外者の僕が言うのもなんなんですけど、あの、非常に申し上げにくいんですが。新橋さんは治ります、もうちよつと待ってあげてください。アルコール依存症専門のカウンセラーもいますし

有楽 ずつと相談にのってもらっているよ。この四年、会社をみながらずつと見守ってきた

馬場 あと一年

有楽 無駄だよ

新橋 もう、わかったから。いままでありがとうね

有楽 こいつをよろしくおねがいます（深々と頭を下げる）

有楽、退場。新橋、新しいビンからお酒を飲もうとする。

新橋 私を裏切らないのは、あんただけね

馬場 お酒はダメですよ

新橋 さわらないですよ

目黒 （新橋の手をつかんで）素直じゃないのよ、好きなら好きっていえばいいのに、ウジウジウジウジ、バカじゃないの。バカよ

新橋 あら、しらなかったの。私バカな女なのよ。男と酒が大好きなのよ。好きで好きで、一番好きな男に愛想つかされちゃった

目黒 追いかけてなさいよ

新橋 今さら

目黒 あきらめるの

新橋 何も言えないわよ。酒におぼれて、他の男と好き放題やって、ごめんなきい、もうしませんって言えるわけないじゃない。どうせ同じ事の繰り返しよ。また飲んで、男と寝て、あの人を傷つけるのよ

目黒 それでいいじゃない

新橋 ダメなのよ。もう終わったの

目黒 そんなにお酒が好きなら、お酒と心中すればいいんだわ

目黒、退場。

新橋 お酒と心中。それがお似合いか

上野 (馬場に) ボーッと突っ立ってないで追いかけてなさいよ

馬場 あ、そうだね、で、追いかけてどうするの

上野 自分で考えろ

馬場、退場。

上野 私、何やってるんだろう。追いかけないの？

新橋 うん

上野 まだ好きなんでしょう

新橋 うん

上野 じゃあ

新橋 イヤよ。もう傷つくのも傷つけるのも

上野 死ぬ気になればなんでもできるわ

新橋 死ぬ気になんて。いつそ死んだ方がいいわ

上野 格好悪い

新橋 そのうちわかるわよ。世の中にはどうにもならない事があるって

上野 聞きたくない

新橋 つらいな、あなたにそんな顔されるの

上野 ごめん

新橋 私、ゆりに言わなくちゃいけない事があるの

上野 何？

新橋 やつと決心がついたから。帰ってきたら伝えるわ

上野 私も、このピースあげて、一枚何か描き上げよつと。約束したのよ、最後まで楽しくやろうって

新橋 楽しく出来るかはわからないけど、お互いががんばりましょう

上野 うん、約束。ゆーびきーりげんまん、うそついたらはーりせんぼん

馬場と有楽にかつがれて、目黒入場。目黒はベッドに寝かされ、馬場がナー
スコールを押す。

上野 どうしたの。冗談でしょ？

高田、入場。

高田 どうしました？

馬場 ストレッチャーを

高田 目黒さん、目黒さん。このまま運んだ方が早いわ

馬場 はい

上野 ここで目がさめて「ほーらだまされた、バーカバーカ」って言う
んでしょ

有楽 手伝います

高田 お願いします

上野 ほら、運ばれちゃうよ！ 起きてよ！

馬場、有楽、高田、目黒を抱えて退場。

上野それを追いかけて退場。舞台上、無言。

鶯谷、入場。ピアノの音が聞こえてくる。

しばらくたって。馬場、上野を抱えて入場。

馬場 眠っていただきました。手術室まで付き添うって聞かなくて
新橋 そう。目黒ちゃん、どう？
馬場 僕には何とも

間。

新橋 私、ひどいやつよ

馬場 そうですか

新橋 言わなくちゃいけない事、あるんだ。言わなくて済むかと思って、
ホッとしている

馬場 はい

新橋 ひどいわね

馬場 僕もです。看護師失格です。

暗転。一幕終

二幕

深夜。目黒が世を去ってから数時間後。

廊下で神田がタバコに火をつけると、明転。廊下には神田と高田が、病室には
上野と新橋がいる。上野はこのシーンを通じて、ほぼスケッチブックとにらみ
合っている。

神田、高田のタバコに火をつける。

▼ 高田 またタバコすって

▼ 神田 すみません

▼ 高田 早く消して一〇秒以内に消して一〇、〇

▼ 神田 早いよ(消す)。はい。いいわけ

▼ 高田 なに

▼ 神田 中に入ってみてくださいよ。いたたまれなくて
 ▼ 高田 帰れば？ 仕事終わってるんでしょ。早く帰れば
 ▼ 神田 一応担当なんだから。ご家族が来るまで待たないと
 ▼ 高田 あら、珍しいじゃない、まじめ
 ▼ 神田 えへ、ちよつとナーバスかなって
 ▼ 高田 誰が？
 ▼ 神田 オレオレ
 ▼ 高田 オレ？ オレオレオレ！
 ▼ 神田 元気いっすね
 ▼ 高田 バカにしてんの
 ▼ 神田 ちよつと尊敬しました
 ▼ 高田 遅い。やつと私の良さがわかったの。さくらちゃん

フ

▼ アンクラブブニ一号にしてあげる

▼ 神田 あるんだ、ファンクラブ
 ▼ 高田 はい会員証
 ▼ 神田 準備いいですね
 ▼ 高田 入会金は三〇〇億万円だから
 ▼ 神田 高
 ▼ 高田 ローンでもいいわよ
 ▼ 神田 便利だな
 ▼ 高田 いまなら限定さくらちゃんストラップもつけちゃう
 ▼ 神田 いりません。ご家族は
 ▼ 高田 家族会員は二割引
 ▼ 神田 そうじゃなくて、ご家族は？ あの子の
 ▼ 高田 ああ、そつち。早く言っつてよ
 ▼ 神田 言っつてます
 ▼ 高田 明日来るって
 ▼ 神田 明日？
 ▼ 高田 忙しいんだってさ

▼ 神田 忙しいね。薄情な両親だな

▼ 高田 あの子両親いないのよ。事故でなくなったんだって
 ▼ 神田 そうなんです。オレは誰のためにがんばったのか

▼ 高田 あの子のためでしょ

▼ 神田 そんなわけないでしょ。助かりっこないもん

▼ 高田 あんた今医者として言っただけじゃないことを言った

▼ 神田 現実ですよ。あいつのためでも家族のためでもない

の

▼ 高田 ならば、いったい誰のためにがんばったのかな、オレは

▼ 神田 あたしのため

▼ 高田 そうっすね

▼ 神田 お疲れ様

▼ 高田 筋肉痛になりそうです

▼ 神田 アレぐらいで音を上げるなんて、男らしくないわね

▼ 高田 繊細なんです。外科の連中と違って

▼ 神田 それじゃ夜のお勤めに耐えられないんじゃない？

▼ 高田 別バラってあるでしょ。お腹一杯でも甘いものなら

▼ 神田 べられる、アレ。それと同じで、別体力なんですよ。

▼ 高田 ずいぶん自信ありそうね

▼ 神田 地球上では三分間しか持たないんですけどね

▼ 高田 宇宙でがんばってね

▼ 神田 高田さんは

▼ 高田 宇宙？

▼ 神田 高田さん、結婚しないんですか？

▼ 高田 医者はいや

▼ 神田 オレだってイヤですよ

▼ 高田 してたわよ、昔。結婚

食

▼ 神田 すみません

▼ 高田 先生はいいひといたいの？

▼ 神田 オレですか？ 最愛の人は心の中で生きているんで

▼ すよ

▼ 高田 なんだそりゃ

▼ 神田 詩人でしょ

▼ 高田 詩人というよりも、指名手配って感じ

▼ 神田 顔の話はしていない

▼ 高田 違ったつけ。ごめんごめん、間違えちゃった

▼ 神田 間違えすぎですよ。耳も目も腐ってるんじゃないで

▼ すか？

▼ 高田 いい男は鼻でかぎ分けるのよ

▼ 神田 犬並というより、犬そのものですね

▼ 高田 犬だから

▼ 神田 犬なんだ

▼ 高田 紹介する。おいで、私の子供たち。ワンワン。子犬

▼ が

▼ 一〇二匹くらい。ワンワン

▼ 神田 しかもダルメシアン。ほらミルクをあげよう

▼ 高田 うんうんうんうん。あんたくさいって

▼ 神田 むかつくな。シャワー浴びましたよ

▼ 高田 うんうんうんうん。多いやつはおうんだって

▼ 神田 なにが

▼ 高田 うんうんうんうん。イヤだ、そんなこと言えないよ、

▼ え、言うの、言えないよ、性交渉が

▼ 神田 言ってるんじゃない。またそんなこと

▼ 高田 やめなさい、あんまり手当たり次第やりまくるのは

▼ 神田 心の恋人を探している、さすらいの旅人なんですよ

▼ 高田 ヤリたいざかりってこと？
▼ 神田 意識しすぎけつこうマジなんだけどな
▼ 高田 つくればいいじゃない、彼女
▼ 神田 簡単にできれば苦労しませんよ

ため息。間。

▼ 高田 提案
▼ 神田 なんですか
▼ 高田 私、どう
▼ 神田 結構です
▼ 高田 じゃそういうことで（と迫る）

有楽、廊下に入場。大きなビニール袋を持って。

▼ 有楽 ただいま
▼ 神田 お帰りなさい
▼ 有楽 お邪魔でしたか
▼ 神田 いえいえいえいえそんな、ねえ
▼ 高田 そうそうそうそう
▼ 神田 ずいぶん遅かったじゃないですか
▼ 有楽 途中で道に迷った老婆を案内していたら妊婦が倒れ
▼ いたんで救急車を呼んだときに少年が自転車で転ん
▼ だので、まとめてつれてきちゃいました
▼ 神田 救急行つてきます
▼ 有楽 嘘ですよ。さ、みんなで食べましょう。おなかすい
▼ て いるでしょう。おでん買ってきました

有楽、高田、神田、入室。

有楽 おまたせ。とりあえず腹ごしらえしよう

新橋 おかえりなさい。上野ちゃん、ごはんよ

神田 飯だつてよ。お腹が減ったら食べますよ

高田 ウワ、なんでおでんとアイスが一緒になつてる

新橋 もうとけちゃつてる

有楽 ごめん

高田 生き残りもあるわよ

新橋 この蒸し暑いにおでんなんか

有楽 あつたかい物食べると、気持ちもあつたかくなるじゃないか

高田 それは言える。運動をすると性欲がなくなるもんね

神田 オレは二〇キロ走つた後だろうが、問題なく遂行しますよ。別体

力ですから

有楽 若さがないもんな、僕は

神田 いただきます。うまいなー、おでん

神田、新橋、有楽、高田がおでんを食べているところに、馬場入場、入室。

馬場 おつかれさまでーす。あ、ずるい

高田 なにが

馬場 僕にも下さいよ、腹へつて

高田 その前になんか言うことあるんじゃないの

馬場 はい。異常無しです

高田 よい。戻つてよし

馬場 僕の分は？

高田 ないわよ

馬場 マジですか

有楽 ちゃんと買ってあるから、食べなさい

馬場 ありがとうございます。優しいなあ有楽さんは
高田 私が優しくないみたいじゃない
馬場 (上野に) 食べろよ
上野 うるさい。静かにしてよ
馬場 ごめん
高田 大根ちょうだい
馬場 イヤですよ(もぐもぐ食べる)
神田 ケケケチすんな
馬場 先生があげればいいでしょ
神田 おれ大根欠乏症だから。食わないとグリコシダーゼ不足で大変
有楽 そんな持病があるんですか
神田 けっこう大変なんですよ。一日一本は食べないといけないし、葉
つばも食べないといけない。そうしないと頭が悪くなるんです
有楽 大変ですね
神田 優しいですね、旦那さん
新橋 そうね
馬場 うまいですね、おでん
有楽 でしょ！
新橋 感激するほど美味しいかしら
神田 普段からロクなもの食ってないんだろうな
高田 失礼ね、お腹がすいているだけよ。ね
馬場 違うんです。僕も良くわからないけど
有楽 どうかしたのかい？
馬場 なんでもないです。僕は看護師失格です
高田 ちよつと、出ましようか
有楽 僕も聞きたいな。力になれるかもしれないし
高田 ありがとうございます。お気持ちだけいただいておりますね

高田、馬場、神田、廊下に出る。

▼ 高田 言ってみなさい。言えば楽になることだつてあるから

▼ 神田 そうだよ

▼ 馬場 どうしたらよかつたのでしょうか。目黒さんから、

そ

の、告白された時に。今思えば、嘘でも付き合うとい

つた方が良かったのかと思つて。曖昧にしまつて

▼ 高田 今さら言つたつて仕方ないけど、あんまり近づきすぎ

ないことね

▼ 神田 そうですか？ 別にいいじゃない、近づいたつて

▼ 高田 患者さんを傷つけるわよ

▼ 神田 適当にあしらわれるほうがイヤですよ

▼ 高田 自分だつて傷つくじゃない

▼ 神田 それも仕事のうちでしょう。馬場くんのスタイルは

が

んばつて保持してほしいな

▼ 高田 ご高説ありがとうございます。それは患者さんのお

世

話をしていないお医者様だからいえるんじゃないですか？

▼ 神田 お世話してるじゃないですか

▼ 高田 なにを？

▼ 神田 休みの時も出てきて病室回つたりしてますよ

▼ 高田 女性のところにはばかり行くのはどうしてですか？

▼ 神田 たまには男性も診ます

▼ 高田 病院は風俗店じゃないのよ。自分の性欲処理は自分で

したらいいじゃない

▼ 神田 そんなにヤツてばかりじゃないし、やるときは合意

の

上でことに及んできますよ

▼ 馬場 彼女とも、ですか

▼ 神田 彼女って？

▼ 馬場 目黒さんとも、したんですか？

▼ 神田 お前は。もう上野さんとはしたのか？

▼ 馬場 していませんよ、そんなこと

▼ 神田 そんなことってなんだよ。セックスって大事だぜ

▼ 高田 相手を選べばね

▼ 神田 したよ。目黒と

▼ 馬場 信じられない

▼ 神田 信じてくれなくて結構。それで、聞いてどうするの

▼ 馬場 別にどうも。ただ、自分が許せなくて。彼女の気持ち

ち

に向き合えなかった自分が

▼ 神田 そんなに深刻に考えるなよ

▼ 高田 ほんとに、まじめもここまで来るとバカね。あんた

患

者さんが死ぬたびにそんなに落ち込んで、この先どうするの

▼ 馬場 一番イヤなのは、彼女が死んで安心して自分の

す。

患者さんの死を望むなんて、最低です。看護師失格です

▼ 高田 いいこと教えてあげる。私、しょっちゅう望んでい

る

▼ 神田 そうだよ、仕方ないよ

▼ 高田 看護婦だって人間なんだから、いつもベストの判断

を

するのは無理でしょ。あんな患者いなくなればいいの

に、ていうのが看護婦失格だったら、私なんて看護婦

何回辞めたらいいのかわかりやしないわ。思うだけな

らしいじゃない。タダだし。私なんて毎日、出て行け

とか、死んじやえとか思ってるよ。実際やったらまずいけど

▼ 神田　で、何人やったんですか？

▼ 高田　一人だけ

▼ 神田　マジで？

▼ 高田　マジじゃないわよ。なんで信じるの

▼ 神田　高田さんならやりかねないから

▼ 馬場　ありがとうございます

▼ 高田　別に。あんた、理想があるんだったら、ここでメゲ

ち

やダメよ。私みたいに適当にやってる看護婦ばかり

じゃダメよ。目指せナースの星！

▼ 馬場　ありがとうございます

間。

▼ 高田　戻りましょうか。おでんがさめちやう

▼ 神田　一服していきますよ

▼ 高田　だめ

▼ 神田　馬場くん、いとしい彼女を支えてやれよ

▼ 馬場　大きなお世話です

高田、馬場、入室。

有楽　おかえり。元気になった？

馬場　ええ、もうすっかり

有楽　元気ないね

新橋　根が繊細で、優しいのよね

高田　根が暗くて、優柔不断なのよね

有楽　ははは、僕と同じだ

高田 いえ、別に羽村さんのことを言ったわけでは

有楽 気になさらないで下さい

馬場 クヨクヨしても仕方がないのはわかっているんですけどね

新橋 ほんとに、伝えそこなつた言葉って、魚の小骨みたいに、心に残るの

間。

新橋 私も言いそびれちゃったことがあるの。みんな、聞いてくれる？

高田 のろけ話だったら聞きませんよ

新橋 違うわ。聞いて欲しくて

間。 神田、入室。

新橋 (有楽の手を握る) 五年前の雨の日、ちょうど今くらいの季節だったかしら。蒸し暑かった。仕事が忙しくて、あんまり寝ていなくてね。車の運転も危なつかしかったんだけど。一分でも早く寝たくて、飛ばしてたわ。そのとき、トラックが急に目の前に現れて。あわててハンドルを切って急ブレーキ、私は軽い打ち身で済んだのだけど、私の後ろの車はメチャクチャ。二人死んだわ。それが、あの子の両親。私、彼女の。ずっと、言わなくちゃと思つてて、でも

有楽 お前の責任じゃないよ

新橋 わかっているの、それは。でも、私が上手によけていれば、私がつと早く気づいていればって

有楽 お前の責任じゃない

馬場 ひよつとして、それでお酒が

新橋 そうね。男遊びも激しくなって、仕事もしていたんだけど。身体の方が先に壊れちゃった

有楽 もつと早く気づいてやれば

新橋 無理よ。あなたとちがって、私、ウソが上手なもの

有楽 まいったな

高田 あの子と同じ病室になるなんて。偶然ね

新橋 本当に、すごい偶然です。目黒ちゃん、そのときのことすごくしりたがっていて、でも、言えなかった

神田 言わなくて良かったですよ

新橋 なぜ？

神田 世の中には、知らなくて幸せなこともありますよ。あいつ、両親のことも馬場のことも、薄々感じていたんじゃないかな。でも、はつきりさせないほうが良かったと思いますよ。ちよつと想像してみればわかるとおもいますけど、今わの際で、振られたり、親の仇みたいな人に出会ったりして、嬉しいですか？ 言わなくて良かったんですよ

高田 結果オーライよね

上野 みんな出て行ってよ

新橋 ごめんなさい

馬場 ごめん

神田 謝ることないですよ、こんな狭量なやつ。自分が一番不幸みたいな面して、気に入らないと思ったらありやしな

上野 なんだって？

神田 お前みてるどイライラするって言ってんだよ、レミゼラブル女

上野 バカ！

高田 (神田に) やめなさい

神田 昔のオレを見ているみたいだ

有楽 昔の神田先生、ですか

神田 いや。オレもあんなだったんですよ。彼女が急性白血病で入院していたとき

間。

有楽 彼女は今？

神田 生きていますよ。ここでね(胸を指差す)

渋谷、入場。入室。

渋谷 まだ起きてるの。早く寝ないとダメよ

神田 お疲れ様です

有楽 すみません。先生、おでんを買ってきたんですが、いかがですか？

渋谷 ご好意だけありがたくいただきます

有楽 そうは言ってもお疲れでしょうし

渋谷 食欲があまり。すみません。上野さん、話があるそうだけど、医局に来る？

上野 ここでいい

間。

渋谷 何？

上野 あいつ、イヤだって言ってたよね。どうしてあんなことしたのよ！

渋谷 落ち着きなさい

上野 イヤがるようなことするなよ。あいつ、何だかんだ言ってたあんなこと好きだったのに

渋谷 体力が低下しなかったら、今日死ぬことはなかったんだ

上野 私が悪いって？

渋谷 そうは言っていない。しかし、我々医療スタッフを糾弾する前に、自分に何ができたか考えてもいいんじゃないかと言っているだけだよ

神田 言いすぎですよ。まるで上野が殺したような言い方じゃないですか

渋谷 言い過ぎた。謝るよ

上野 もっと苦しまないようにしてあげてよ。そばにいて欲しいって、

私にそばにいて欲しいって言ってたのに、何の権利があつて邪魔したの

渋谷 適切な処理の妨げとなる

上野 じゃあ助けなさいよ！ 生き返らせてよあいつを！

神田 無理だよ

上野 えらそうに、結局殺しただけじゃない！

神田 言いすぎだつて。渋谷先生、オレこいつの気持ちもわかるんですよ。オレの考えでは、ターミナルの患者は極力その本人の意思を尊重するべきだと思っています。彼女のケースは未成年と言うこともあり判断の難しいところもありましたけど、オレは自分の死に方を選べる分別はあつたと判断しています

渋谷 いまここでいうべき発言ではないわね

神田 なぜです。風通しのいい議論でいいじゃないですか。患者の前でできないような話は、医者同士でもやらないほうがいいんですよ

渋谷 理想論だ

高田 もうやめましょう

馬場 あの、いいですか

渋谷 なんだい？

上野 なによ

馬場 いや、ごめんなさい、いいです

神田 なんだよ、それ

高田 さ、もうやめやめ。アイス食べましょう。とけちゃうわよ

有楽 ごめんね、僕が気をつければ

上野 やめてよ

高田 何描いてたの？

間。

上野 あいつは死んでいないだけではなく、生きようとしていた

渋谷 傲慢だと思うわ、その論理。生きているわけじゃなくて、ただ死んでいないだけ。寝たぎりの人の前で、それ言える？ それはそうかもしれない。生きていると言うことは、自分に正直に一生懸命やることでしょう。でもね、そもそも自分の力で生きるっていう発想が傲慢なのよ。我々は、生きているのではなく、生かされているの

上野 助けられなかったくせに

渋谷 医療スタッフが生かしてるという意味ではないわ

高田 そうね。私達は、生かされてる人の、生きようという意味を手助けをしているだけなのよね

神田 珍しい

高田 いや、取り消し。やめましょう、ここで

渋谷 家族や友人や仲間や空気や森や大地や海や風や星空や動物や魚や虫や細菌に至るまで、そういったすべての、この世にあるあらゆるものに生かされているのだと。私はそう思います

新橋 傲慢か

高田 渋谷先生

渋谷 らしくないね。忘れてください。医療は可能性

神田 その発想って、死に行く人の考え方がないじゃないですか。よく死ぬっていう発想は必要ですよ。ターミナルの患者に色々やるのは、反対です。オレ二人がチャリンコで出ていくところ見ちゃったんですよ。でも止められなかった。止められますか？オレの彼女はね、花火が見たいって言ったんですよ。でも連れて行ってやれなかった。治ったら二人で行こうねなんて、治りっこないのね。もし目黒を殺した奴がいるのだとすれば、こうなることがわかっていて止めなかったオレです。でもオレは自分が間違ってるとは思ってません。有意義な一日を尊び、管だらけの一ヶ月を憎みます

渋谷 若いな

馬場 若さで片付けられるのはイヤです

有楽 ちよつと、いいですか

神田 なんですか

有楽 神田先生の仰ること、とてもよく分かります。でも、私としては、やっぱり断固として病氣と闘ったっていう自負があるんです。それを支えてくれた医師にも感謝をしています。ですから、そんなに渋谷先生を

高田 私も一号の意見に賛成かな。この中で慢性骨髄性白血病の患者さんを一番多く治しているのは渋谷先生なんですから、素人や素人に毛が生えた程度の方の意見よりも、一〇年間現場でがんばってらっしゃる渋谷先生の判断

が正しかったと思いますよ。さ、もういいでしょ、こんな話は

神田　　ごもつとも。この話はやめましょうか

渋谷　　ありがとうございます。少し夜風にあたつてくるよ

渋谷、退室。廊下に。

有楽　　あ、おでん

新橋　　食べないわよ

高田　　アイスだけ持っていきますね。渋谷先生、アイスっ子だから

有楽　　馬場くん、全部お食べ

馬場　　いただきます

高田、退室、廊下に。

▼　高田　　アイス食べる？

▼　渋谷　　いらない。甘いもの嫌いなものしつてるでしょう

▼　高田　　忘れてた。患者の前であんなこと言うなんて

▼　渋谷　　ごめん

▼　高田　　別に

▼　渋谷　　一〇年か

▼　高田　　何が？

▼　渋谷　　医局に来てから

▼　高田　　(数える) あら、ほんと、一〇年ね

▼　渋谷　　あつという間だったな

▼　高田　　長いよ。もう、何度火付けて辞めようと思った

▼　　ことか。今も思ってるけど

▼　渋谷　　辞めないの？

▼　高田　　寿退職したくても、出合いの時間もないし

▼　渋谷　　仕事じゃなかったつけ、離婚の理由

▼　高田　　冗談よ

▼ 渋谷
どっちが

▼ 高田
寿退職。でも、男は欲しいわよね

▼ 渋谷
言ってること変わらないのね

▼ 高田
ずいぶん変わったわよ。もう身長も学歴もどうだつ

▼ て

いいわ。収入が少なくなつていい。た

▼ だ、

▼ 渋谷と高田
医者だけはイヤ

▼ 渋谷
あの子には、いろいろ勉強させてもらったな

▼ 高田
とくにあんたはね、研修時代からでしょう

▼ 渋谷
ムカつくガキでさ、あの子。私の聴診器盗んで壊し

▼ ち

やったの。オーベンに怒鳴られたわよ

▼ 高田
血管も細くてさ、採血するのイヤだったなあ。それ

▼ か

ら思えば、成長したわね、私達

▼ 渋谷
だといいのだけれど。はじめてマルクしたのも、ゆ

▼ り

だった

▼ 高田
珍しいじゃない。鉄面皮だ不感症だと言われつづけ

▼ た

渋谷女史がそんなおセンチメンタルな

▼ 風情で

▼ 渋谷
不感症じゃないわよ

▼ 高田
それははじめて言ってみた

▼ 渋谷
ダメかしら、たまに落ち込んだら

▼ 高田
いいじゃない。人間らしくていいわよ

▼ 渋谷
ずいぶん慣れたんだけどね、患者さんが死ぬの。や

▼ っ

ぱり付き合い長いからかな

▼ 高田 そうね

▼ 渋谷 慰めてくれる男の一人もないんだもん、イヤにな
つ

▼ 高田 そうね

▼ 高田 神田先生は？ ▼ 渋谷 あの人は、
昔の彼女のことしか見えてないもの

▼ 高田 そうなんだ

▼ 渋谷 さくら、もう結婚しないの？

▼ 高田 みんなご祝儀払わせすぎだと思わない？

▼ 渋谷 は？

▼ 高田 みんな勝手にバカスカ結婚しやがって、ご祝儀払う
ほうの身にもなれって言うの

▼ 渋谷 あんたも一回したじゃない

▼ 高田 それはおいといてさ、そのくせ二次会に行くとする

▼ 高田 やない？

▼ 渋谷 私あんまり行かないから

▼ 高田 仮に行くとして

▼ 渋谷 うん。行つた

▼ 高田 来たわね。あたりを見回して。ああ、ろくな男がい

▼ 高田 い。ショック。たまにいい男がいたかと思えば、話

▼ 高田 中身は健康相談だつたりするのよ。看護婦だつたら

▼ 高田 やさしくしてくれると思っちゃって、こっちは仕事

▼ 高田 やさしくしてるんだからしらないわ、プライベート

▼ 高田 らい仕事を忘れさせてみるっていうの。イヤになつ

ち

▼ やうわよ。まあ、私ほど白衣の天使が似合う女もい

な

▼ いから仕方がないとは思うんだけどね。この前も

▼ 渋谷 さくら。医療は可能性よ

▼ 高田 うん

▼ 渋谷 あの子には、最後まで生きていて欲しかったの

▼ 高田 うん

▼ 渋谷 私、間違っていないよね

▼ 高田 おつかれさま(渋谷を抱きしめる)。明日もがんばろ

う

▼ ね

馬場 不思議ですよ、どんなに悲しくても、お腹は減るんですよ

神田 不思議なことはないだろ。生きてるんだから。飯食えばクソもすればセックスもする。そして寝て起きる。それが生きるってことだ

新橋 ケダモノじゃない、それじゃ

神田 じゃ、新橋さん飲まず食わずでクソせずセックス無しで生きられますか？ オレは無理

有楽 そうだね

馬場 されど人はパンのみにて生きるにあらず

有楽 そう、一人では生きていけないんだよ

馬場 だんなさん、新橋さんは会社のご存知なんですか？

有楽 何のことだい？

馬場 ごめんなさい、さつき、電話しているとき、聞く気はなかったんでけど耳に入っちゃって。そしたら、会社、倒産したって

間。

馬場 言ったら、まずかったですかね。でもだんなさん、借金とかのこ
と気にして新橋さんと別れようとしているみたいで。そんなのあんまり悲しい

じゃないですか

新橋 馬場くん、ありがとう

有楽 余計なことを

新橋 そんなこと言うもんじゃないわ

有楽 うん

新橋 私がお金とあなたを引き替えにすると信じたの！

上野 (神田に) 彼女が死んだとき、悲しかった？

神田 あたりまえだろう。好きで好きでたまらない相手が病気で衰えて

いく様を見守るしかなかったオレの気持ちが、わかるでしょ

有楽 これが最後だよ

上野、新橋、▼渋谷 ありがとう

▼ 高田 どういたしまして

神田 しかもオレの場合、下手な知識があるばかりに、どうにもならないってことがイヤってほどわかって。それでも奇跡が起こるようなことを信じちやうんだよね。バカだよなあ

有楽 なにがバカなもんですか

神田 今でも帰ってくるって、どっかで思ってますもん

新橋 思う力って、強いよね

有楽 そうだね

神田 意志なんて、ぷっちんプリンよりもろいものですよ

新橋 知ってるわ

神田 オレなんか、早起きを誓ってできたためしがない。大変だと思えますよ、生身の人間と恋をするのは

病室に朝の光が差し込んでくる。

新橋 もう朝ね

有楽 今日も晴れそうだ

▼ 渋谷 もう、大丈夫

▼ 高田 こんなに可愛いのに、なんで男ができないかな

▼ 渋谷 仕事は恋人だから
▼ 高田 けっ。大嫌い、そういう発想
▼ 渋谷 私は、あんた好き
▼ 高田 さ、馬場くんつれて仕事にするか

高田、渋谷入室。

高田 馬場くん、巡回
馬場 さつき行つたじゃないですか
高田 一回で終わりつてもんじゃないわよ
馬場 こんどは主任行つてくださいよ
高田 反抗した。生意気
神田 夜が明けちまつた

病室に朝の光がより強く差し込んでくる。

新橋 暑くなりそう
馬場 真夏日だつて。ラジオで言つてました
神田 マジかよ。職場放棄したい
有楽 海にでも行きたいね
新橋 あなたとなら、どこへでも
渋谷 外泊はいつでもいいですよ、お酒さえ飲まなければね
新橋 まあ、おいおい
高田 何の絵描いてるのよ

間。

馬場 返事がない。ただのしかばねのようだ
高田 なにそれ
有楽 ドラクエだね

高田 ふーん。ドラクエ好きだったねえ

渋谷 ゲームは楽しかったみたいだよ

馬場 たまごが好きでした。からはつけないで食べて

新橋 ビールが好きで、おやじみたいに飲んでた

有楽 読書が好きで、団鬼六読んでて驚いたな

神田 ウソ！

有楽 次に来たら広辞苑だったよ

神田 よつぽど暇だったんだろな

馬場 日本代表よりサンフレッチェ広島が好きで

高田 巨人は好きだけど長島より王を応援してた

神田 やつぱりオヤジだったんじゃないか、あいつ

渋谷 生意気だけど寂しがり。痛い検査には耐えられるけど、一人で夜

泣いてるのよ

新橋 ベッドの上で男を泣かせれば、一人前の女だって教えたのに

神田 泣きませんでしたね

馬場 なんで僕を見るんですか

神田 男見る目ないよなあ

有楽 そんなことないよ

渋谷 パズル、完成してたんだ

神田 仕事だるいなあ

馬場 そればかり

上野 ねえ。本当は、私があの子を殺したの。って言ったら、信じる？

間。鶯谷のピアノが聞こえてくる。目黒の好きな歌。全員で、思い思いの部分
を、知っているところだけ口ずさむ。

上野がスケッチブックの手を止める。

上野 へたくそだ

朝日がさしてくる。舞台が光で満たされて

終

「ピース」

作詞/SERI+RIE 作曲/RIE

なんとなく

続けてる

終わりなんて

見えない

なんとなく

ためらってる

ありきたりな

結末

ご飯を食べて

キスをする

眠りについて

目が覚める

繰り返すばかり

毎日の中で

ずっと

探してる

時々

手伝って

一人きりには

しないで

なんとなく

続けている

ありきたりで
見えない
ピース

+++++

「びょういんのパズル」劇中で使われる挿入歌。

終わり

上演にあたって

上演許可は左記までお問い合わせ下さい。

合同会社 Level 19

電子メール info@level19.net

発行元 黒澤世莉 二〇二一年七月三日